

盛り上がりを肌で感じた／牛乳パワーで勝利／ボールボーイができて光栄／気持ちを含めて応援／国体選手になりたい



阿部 海翔君
(葛巻高2年)

【10月1日に北上市で行われた総合開会式の集火セレモニーに参加し、町の炬火を届けた】町代表として、しっかり役割を果たすことができた。全国から一つの県に集まる国体の規模の大きさと、その盛り上がりを肌で感じた。



早川 慶さん
(群馬県代表)

【葛巻球場で3日間試合をした唯一のチーム】葛巻球場では、牛乳パワーのおかげで全試合勝つことができた。葛巻の皆さんの笑顔、おもてなし、宿舎のプラトー、どれも最高で、良い形で、試合に臨むことができた。



橋本 真徳君
(葛巻高2年)

【葛巻高校野球部主将。グラウンド整備やボールボーイを担当】国体という大舞台でボールボーイができたのは光栄なこと。部員一同、野球に限らず多くのことを学ぶことができた。今後も葛巻のために貢献していきたい。



小野 航平君
(葛巻中2年)

【葛巻中野球部主将。グラウンド整備やボールボーイを担当】全国トップレベルの試合を間近で見ることができてうれしい。プレー中の状況判断など多くのことを学んだ。学校応援では、気持ちを込めて精一杯応援した。



辰柳 玲斗君
(五日市小6年)

【学校応援で試合を観戦】小学2年から五日市メッツで野球をしている。試合を観戦して、選手のボールに対する反応の早さに驚いた。国体選手になれるよう練習を頑張っていた。地元で応援できてうれしい。

おもてなしスタッフ



①へっちょこだんごを提供した町婦人連絡協議会 ②くずまき高原牛の肉汁を提供した町商工会女性部 ③ひつみつみを提供したJA新しいわて女性部葛巻支部 ④くずまき高原牛乳などのドリンクコーナーを担当したボランティア

大会運営を支えたスタッフ



グラウンド整備などを担当した①葛巻高野球部・②葛巻中野球部・③江川中野球部 ④放送委員、点字・スコアボード委員、公式記録員 ⑤町野球協会審判員 ⑥7・8位決定戦終了後、オール岩手の選手とスタッフで記念撮影

39人が、スタンドでバイオリン演奏を披露。秋晴れのグラウンドに美しい音色を響かせ、会場を和ませました。

球場の外に設けられたおもてなしコーナーでは、町婦人連絡協議会、町商工会女性部、JA新しいわて女性部葛巻支部の3団体が、町の食材をふんだんに使用したへっちょこだんごやひつみつみなどを振る舞いました。

大会には3日間で、競技役員や中高生などの補助員、ボランティアなど延べ約700人が運営に携わったほか、町内の全小中、高校による学校応援をはじめ町内外から延べ約1600人が応援に駆け付け、大会を盛り上げました。



岩手対大分の7・8位決定戦では葛巻生など700人を超える観覧者がスティックバルーンを両手に応援



へっちょこだんごと牛乳を味わう沖縄県の選手ら



始球式を務めた葛巻高野球部の長栄君



開始式で選手らの来町を歓迎する鈴木町長



国体に合わせて整備されたスコアボード



五日市保育園の園児らが作成した歓迎看板



バイオリン演奏を披露した保育園と児童館の年長児

この決定戦の直前には、町内の保育園と児童館に通う年長児

最終日の7・8位決定戦では、本県代表のオール岩手が、大分県代表のオール大分と対戦。700人を超える観客が両チームに盛んな声援を送り、盛り上がりは最高潮に。試合の結果、岩手が7対2で快勝し、7位入賞を果たしました。

本町では、初日に1回戦3試合、2日目に2回戦2試合と準々決勝1試合、最終日に5・6位決定1回戦と7・8位決定戦の計8試合が行われました。3日間で監督と選手ら延べ約300人が来場し、優勝を目指し熱戦を繰り広げました。

大会は、葛巻高野球部3年の長栄祐二君の始球式で幕を開けました。長栄君は「気持ちよくプレーしてもらいために心を込めて投げました」と大役に充実した表情を見せました。

本町では、初日に1回戦3試合、2日目に2回戦2試合と準々決勝1試合、最終日に5・6位決定1回戦と7・8位決定戦の計8試合が行われました。3日間で監督と選手ら延べ約300人が来場し、優勝を目指し熱戦を繰り広げました。



第71回国民体育大会

広げよう感動。伝えよう感謝。

軟式野球

希望郷 いわて 国体

第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」本大会が10月1日から11日まで、46年ぶりに本県で開催されました。

正式種目の軟式野球競技が、県北・沿岸6町村で実施され、本町では10月2日から4日までの3日間、町総合運動公園野球場を会場に行われました。

秋篠宮ご夫妻 本町へお立ち寄り



初めて本町にお立ち寄りになられた秋篠宮ご夫妻。森のこだま館前での温かい歓迎に、笑顔でおこたえになりました

希望郷いわて国体へのご臨場および東日本大震災の復興状況ご視察のため、10月9日から11日まで本県を訪問された秋篠宮ご夫妻が10月10日、本町へお立ち寄りになりました。

ご夫妻は、同日の午前中、久慈市から専用車でご来町になり、鈴木重男町長と中崎和久町議会議長がお出迎えをし、森のこだま館でご休憩をとられました。その後、国体ホッケー競技観戦のため、岩手町へご出発されました。

ご夫妻のご来町は初めて。今回のご来町を記念し、森のこだま館付近の町有林に参列者全員でトチを植樹し、標柱を建立しました。



秋篠宮ご夫妻のご来町を記念し、参列者全員でトチを植樹（森のこだま館）

2016 希望郷 いわて大会 第16回全国障害者スポーツ大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。

岩下さん、東館さん、悲願の金メダル

【フライングディスク・ディスタンス座位】

第16回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」のフライングディスク競技が10月22日から24日までの3日間、盛岡市の県営運動公園で行われました。

本町からは、五日市出身の岩下貴志さんと、吉ヶ沢出身の東館明香さんが出場。車いすに座ったままディスクを3投して飛距離を競うディスタンス座位で、二人そろって金メダルを獲得する快挙を達成しました。

二人は、生まれたときから両足が不自由で、岩下さんは高校2年から、東館さんは中学1年から競技に取り組み、悲願の金メダルに輝きました。



【岩下さんのコメント】 競技前日に肩を痛めてしまった。40㍎を目標としていたので、記録が伸びず悔いは残るが、力いっぱい投げることができた。たくさんの声援が力になったし、家族のサポートにも感謝している。



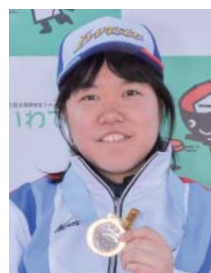
ディスタンス男子座位 記録23㍎99



岩下 貴志さん
(25歳、五日市出身、盛岡市在住)



【東館さんのコメント】 2年前の長崎大会より4㍎記録を伸ばすことができた。金メダルはうれしいが、目標の30㍎に届かず悔いが残る。競技は楽しい仲間も増えた。これからも仕事と両立して続けていきたい。



ディスタンス女子座位 記録24㍎17



東館 明香さん
(19歳、吉ヶ沢出身、盛岡市在住)

デモンストレーションスポーツ ネオホッケー



★優勝 小室瀬ビクトリー

【小学生の部】 「最優秀選手賞」 受賞者コメント
小室瀬ビクトリー

村井 萌華さん (小室瀬小6年)



国体という大きな大会で優勝することも、最優秀選手賞をもらえることも全く考えていなかった。驚きとうれしさでいっぱい。ネオホッケーは楽しいので、これからも続けていきたいです。

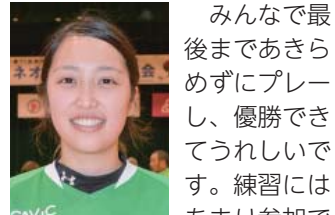


《監督》千葉大樹 《選手》村井萌華、千葉美珠樹、田野宇浩、千葉聡太、元村心、外山秋翔、銚谷理菜、千葉心晴、大下由菜、丸山晃奈、土谷佳大

★優勝 西部ツッカーズ

【一般混成の部】 「最優秀選手賞」 受賞者コメント
西部ツッカーズ

千葉 楓さん (19歳・小室瀬)



みんなで最後まであきらめずにプレーし、優勝できてうれしいです。練習にはあまり参加できなかったけど、関係者の皆さんのサポートのおかげで、最優秀選手賞をいただくことができ感謝しています。



《監督》元村和明 《選手》鈴木智、鈴木雄晃、鈴木聖也、千葉滯、鈴木とし子、江田由香利、千葉明美、千葉楓、元村弥佑、江田智哉、大石美佳、名久井涼美

町勢が 2部門制覇

いわて国体デモンストレーションスポーツのネオホッケー競技が10月9日、社会体育館で行われ、町内外から小学生の部と一般混成の部に各12チーム、選手や監督など約300人が参加しました。

開始式で、鈴木満競技委員長（町ネオホッケー協会会長）が競技会開始を宣言し、觸澤義美副町長が歓迎の言葉を述べました。続いて、

西部ツッカーズの江田智哉君と元村弥佑さん（共に小室瀬中3年）が力強く選手宣誓を行い、競技がスタート。予選リーグと決勝トーナメント合わせて全32試合が行われ、会場は熱気に包まれました。

競技の結果、小学生の部は小室瀬ビクトリーが、一般混成の部は西部ツッカーズが優勝の栄誉に輝き、町勢が2部門を制覇しました。